

中空スラブ標準仕様書

1. 適用範囲

- ・本仕様は鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の中空スラブ工法に適用する。
- ・本設計図面は株式会社栗本鐵工所の鋼製ワインディングパイプ使用(以下パイプ)を前提として設計されたものであり、他メーカーのパイプに適用することはできない。
- ・各項に対して別図などで詳細指示がある場合は、それに従うこと。

2. 使用部材

部 材 名 称	材 質	規格および材質
パイプ	亜鉛めっき鋼板	JIS-G3302 SGCC 相当品 JIS-G3313 SECC 相当品

パイプ及びその他の部材は(株)栗本鐵工所の仕様とする。

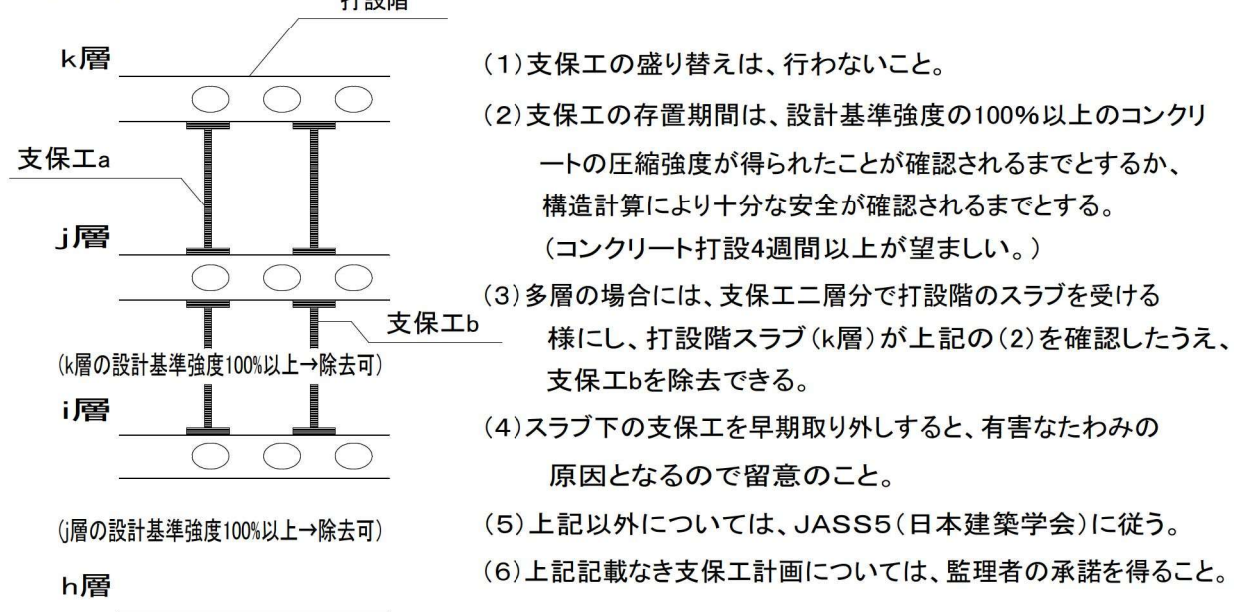
問い合わせ電話番号	☐ 大阪(本社)	06-6538-7708
	☐ 東京	03-3450-8558
	☐ 名古屋	052-551-6934
	☐ 中国	082-247-4134
	☐ 北海道	011-661-6781
	☐ 東北	022-227-1882
	☐ 九州	092-451-6626

3. 中空スラブの施工

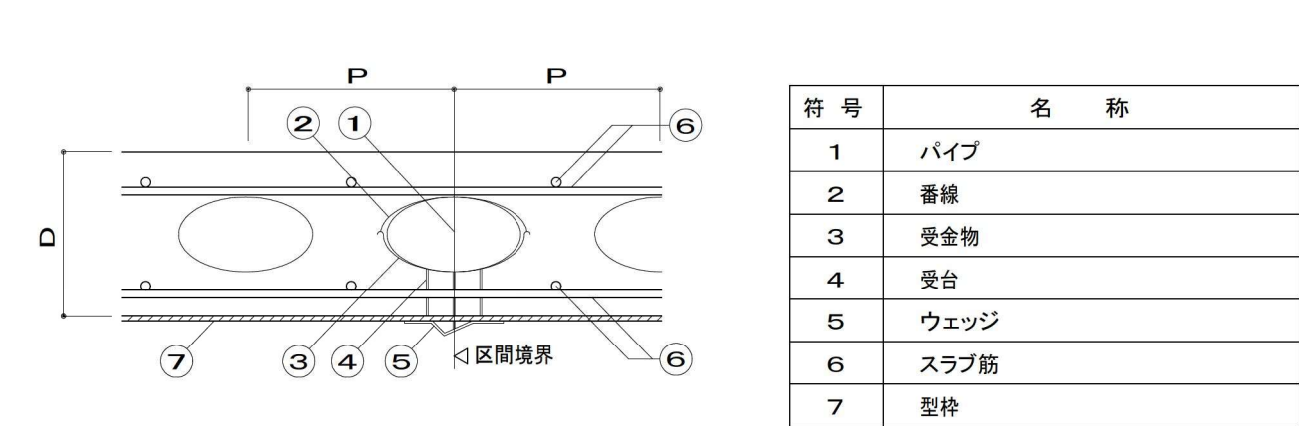
- 中空スラブの施工は下記に示す内容に準ずること。
- ・日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」
 - ・日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」
 - ・(社)公共建築協会「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」

監理者の許可無くパイプ割付を変更しないこと。

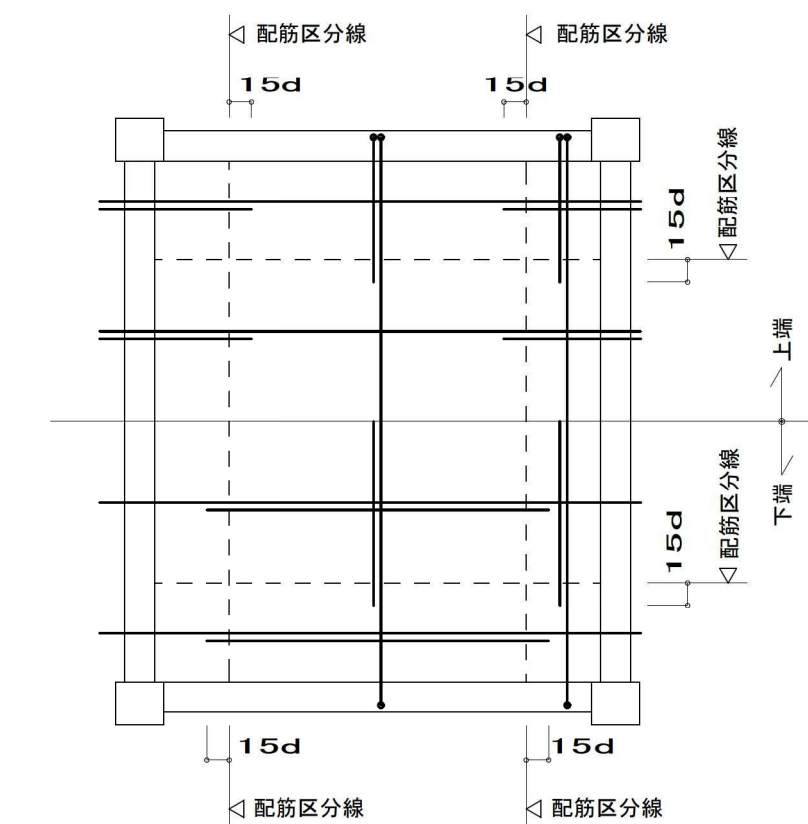
4. 仮設支保工



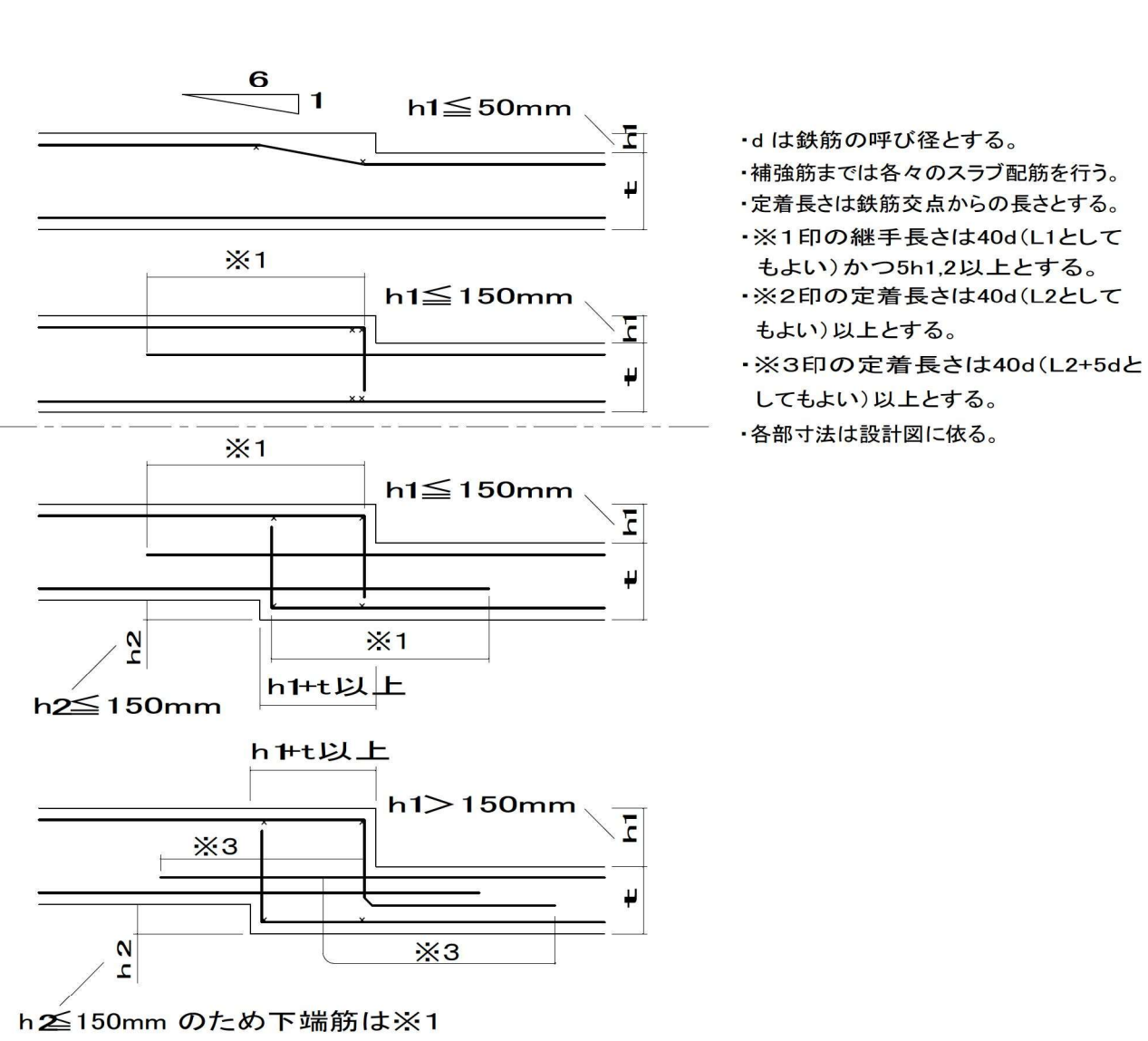
5. 中空スラブ標準構成図



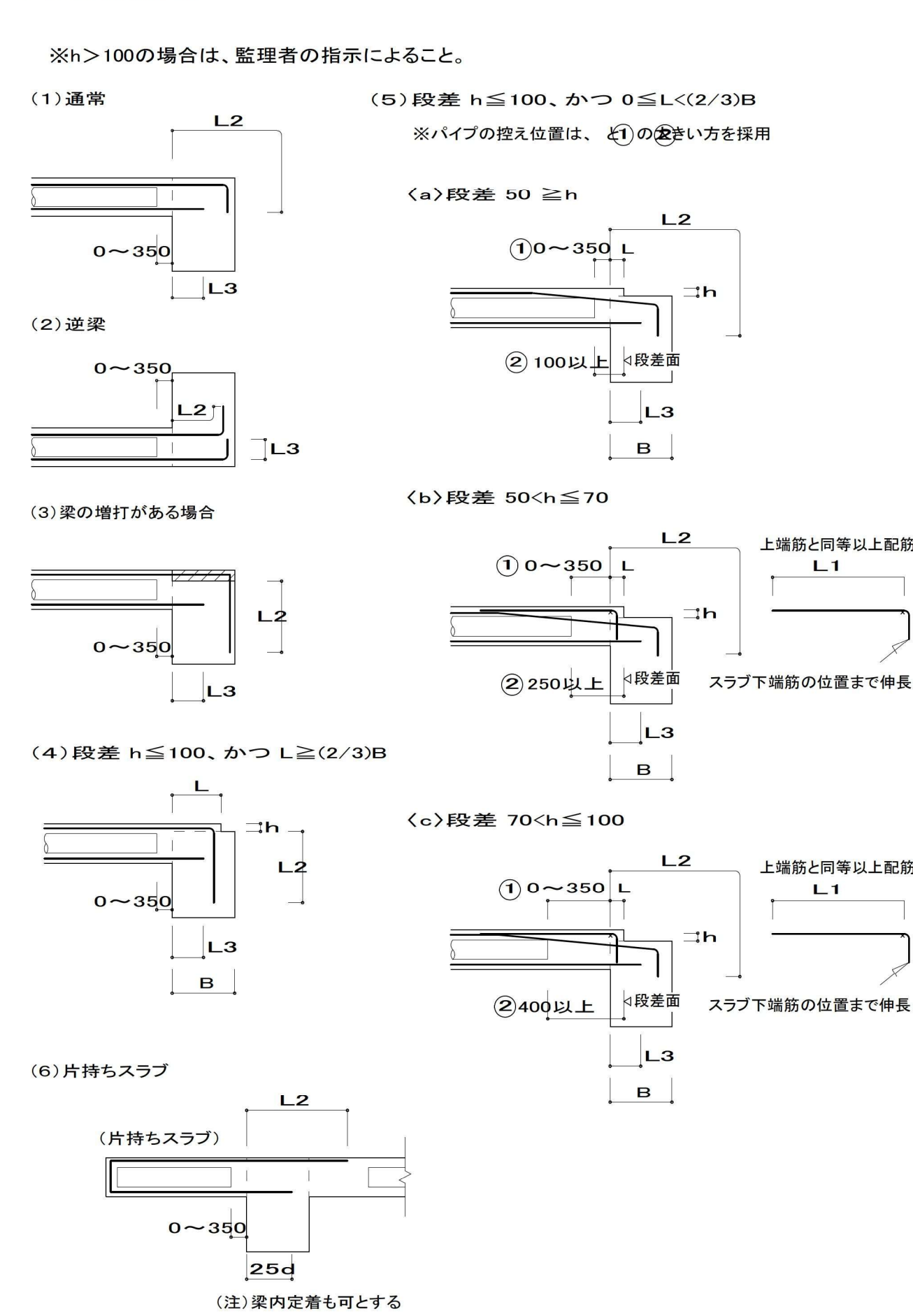
6. 配筋要領図・余長



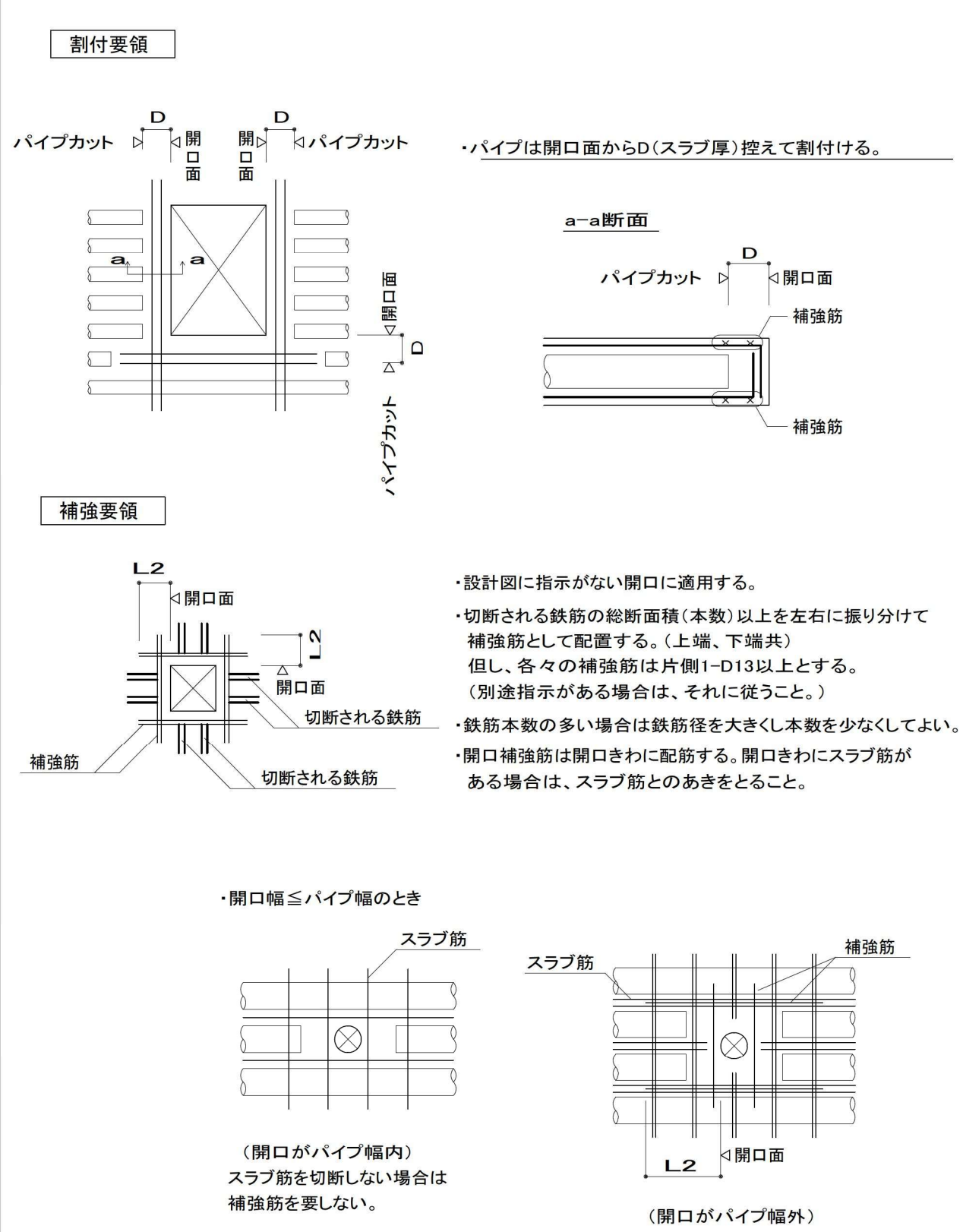
7. 段差部配筋要領図



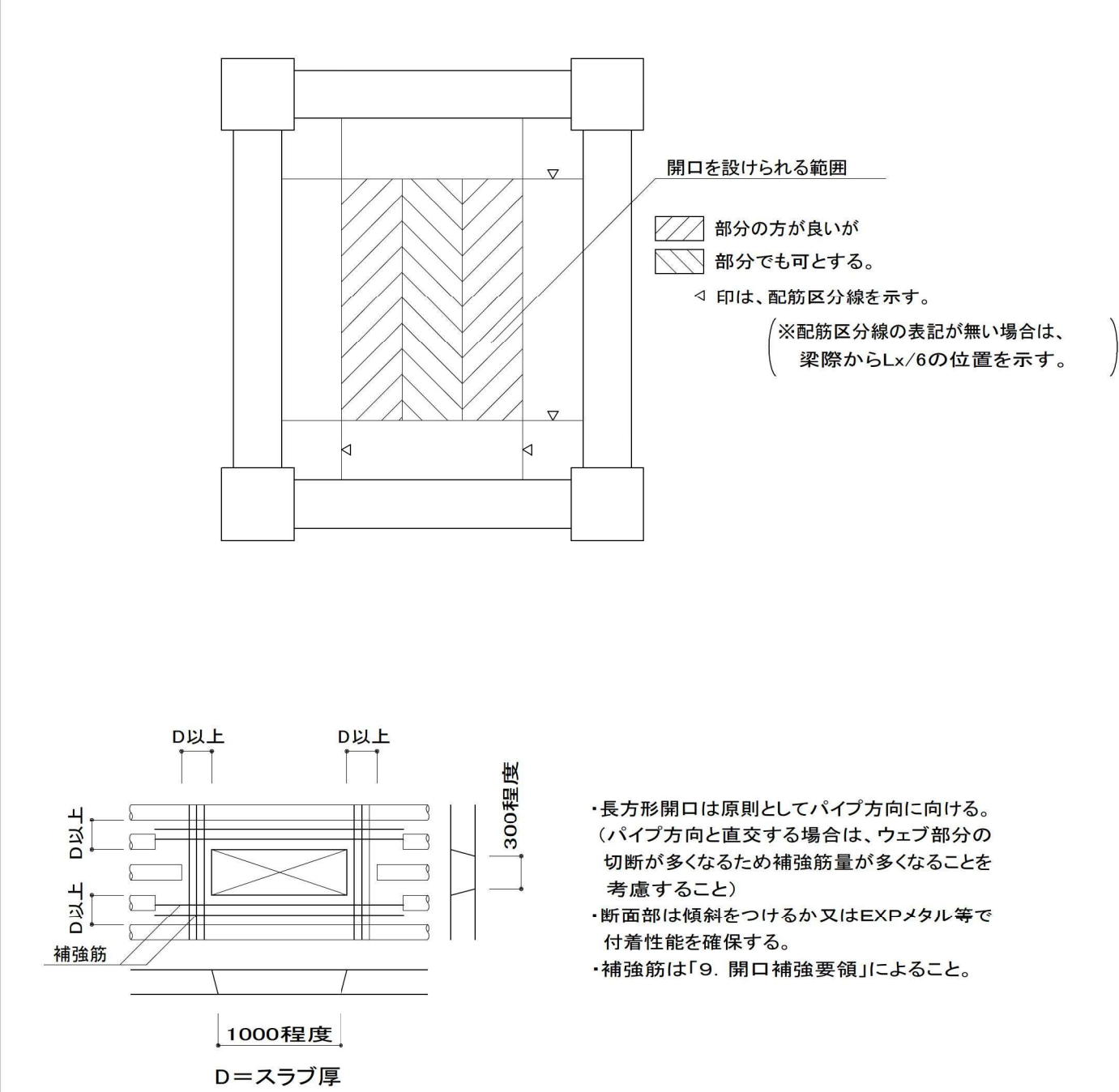
8. 大梁定着配筋要領



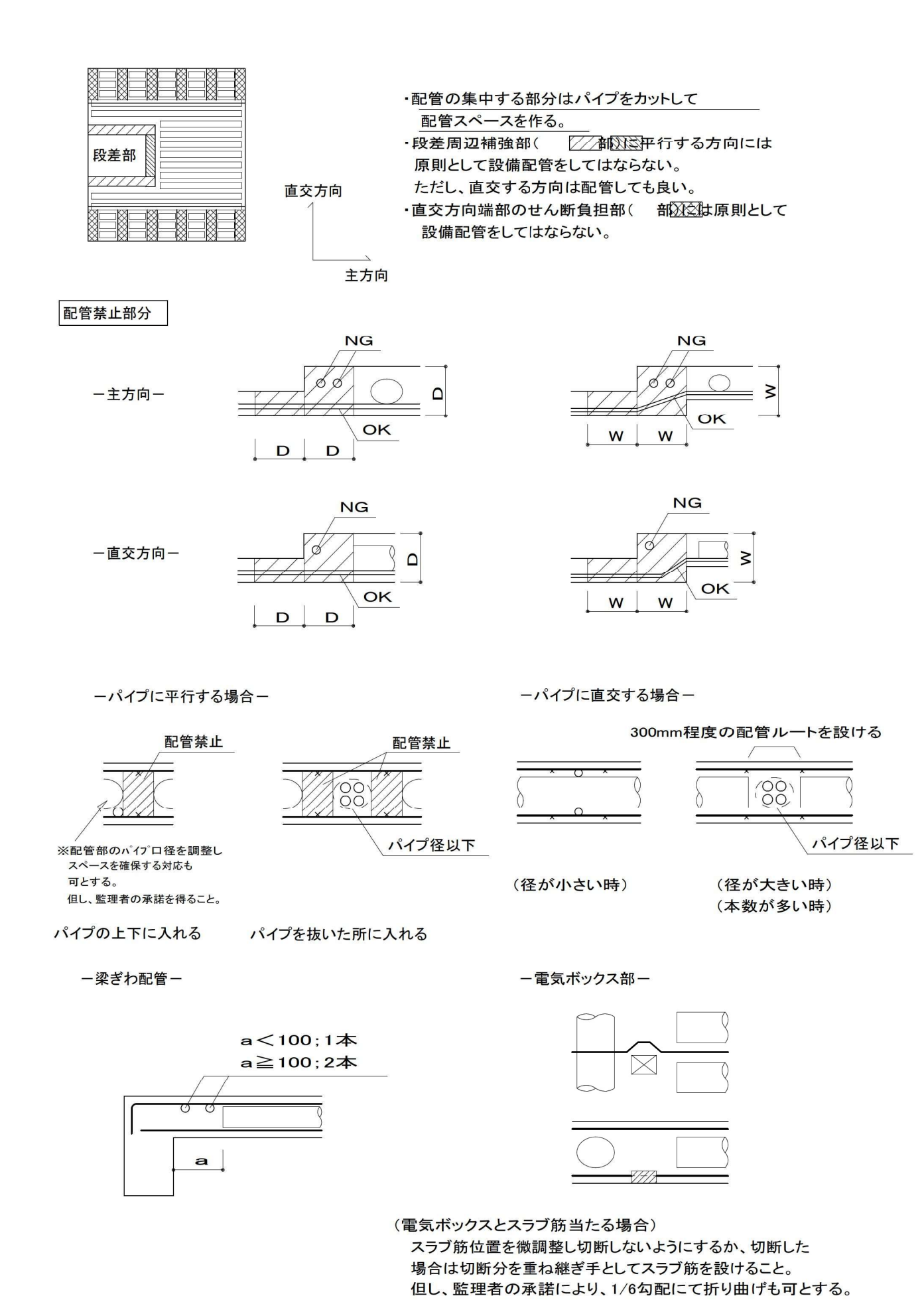
9. 開口割付・補強要領



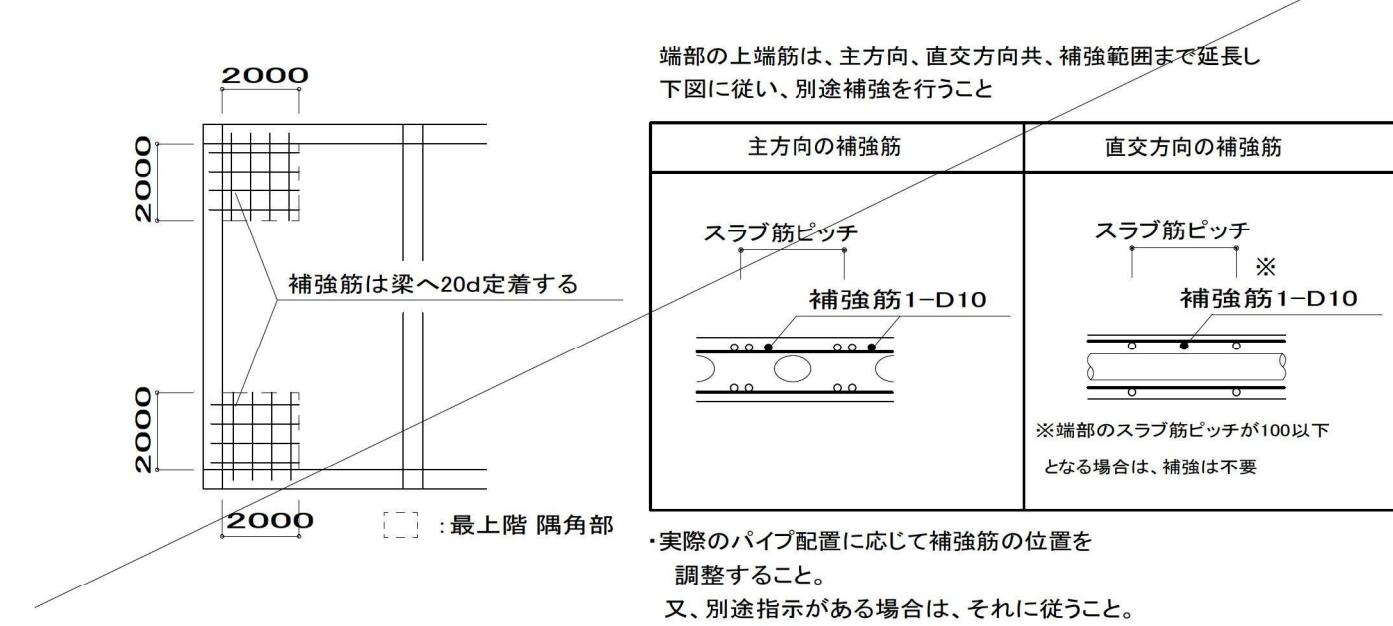
10. 仮設開口



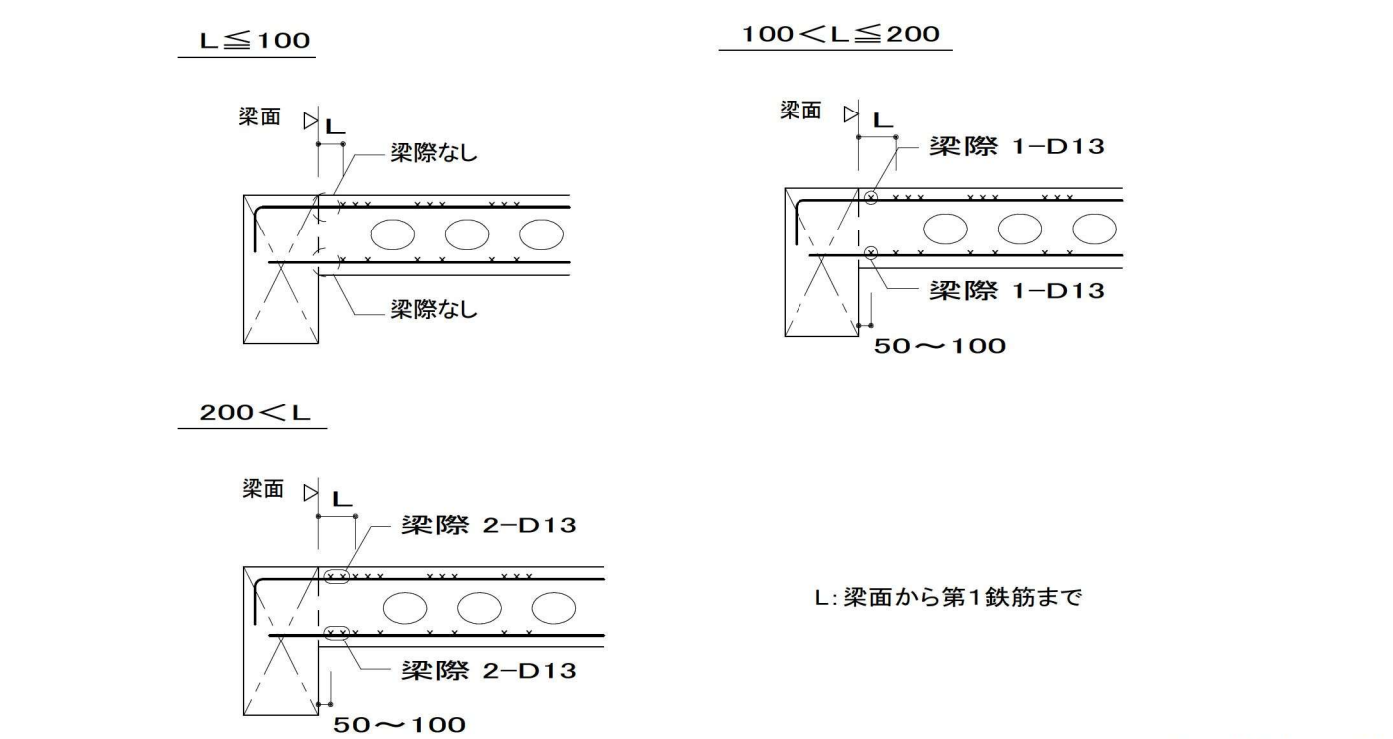
11. 中空スラブ内設備配管



12. 最上階隅角部の補強筋要領

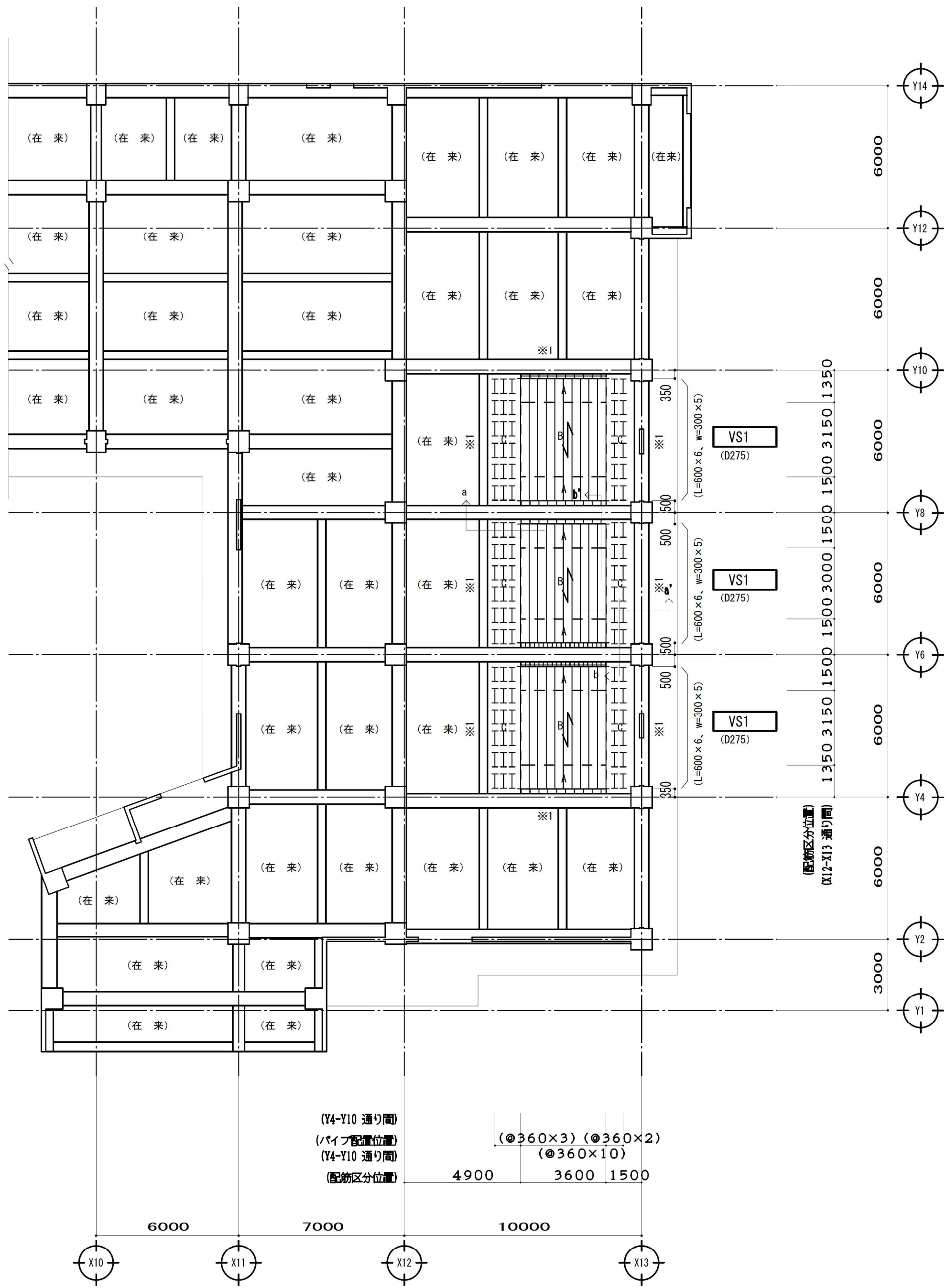


13. 梁際の中空スラブ配筋要領

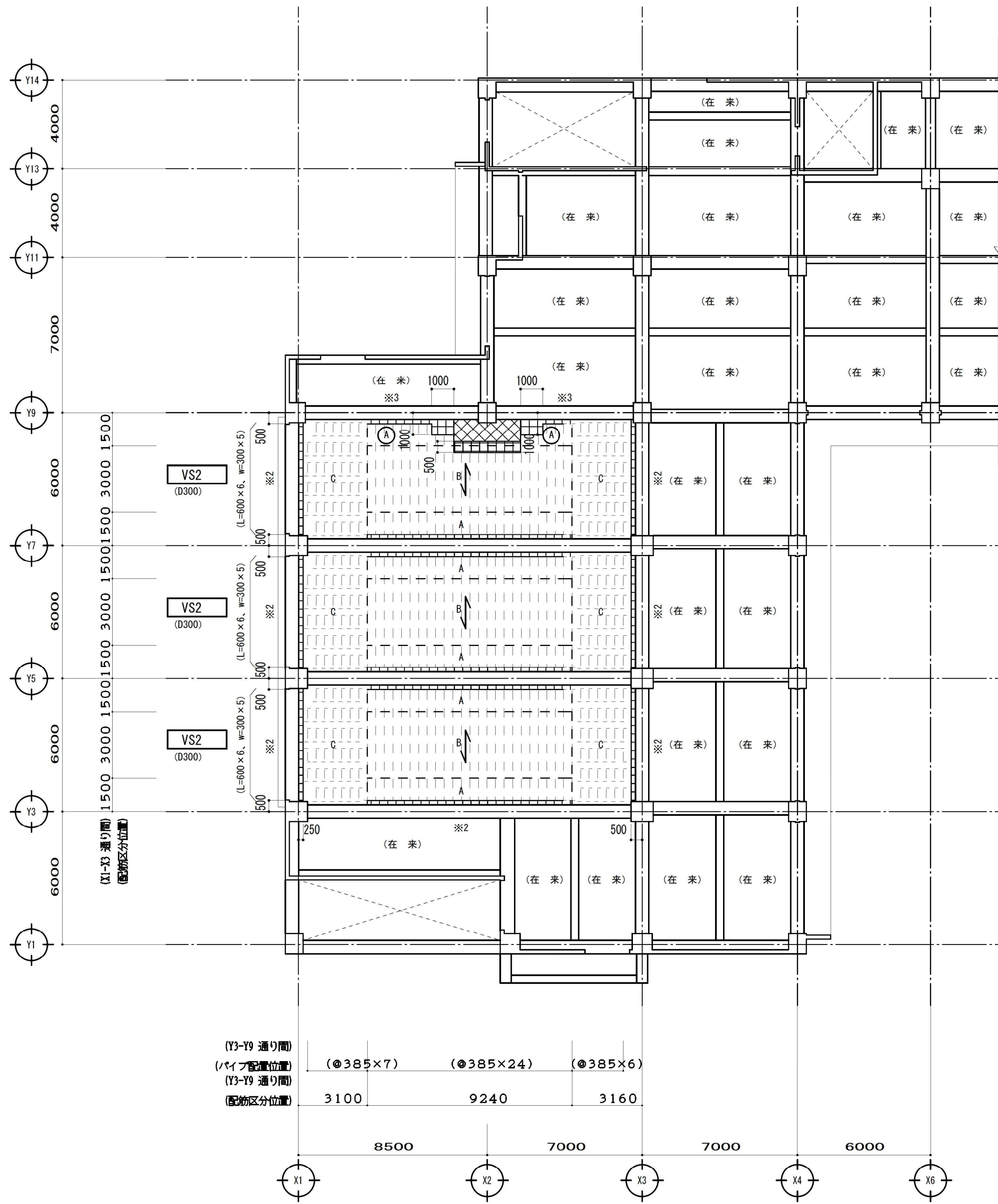


Ver: KH-010.011.D

検査印		内 藤 ・ フ ジ 設 計 共 同 体		(一般建築士 登録第160462号) (構造設計一般建築士 第4071号) 藤田 貴司 【構造関係規定に関わる部分が含まれる】 (一般建築士 登録第361971号) (設備設計一般建築士 第5999号) 山本 高史 【設備関係規定に関わる部分が含まれる】	工事名 紀北支援学校中学校舎棟建築工事	図 名 中空スラブ標準仕様書	縮 尺 A1:1/~ A3:1/~	設計日	図 番 S-047
京都市左京区田中大厦町182		(主任技術者)							
一般建築士 神矢 誠司 (登録第232129号)		一般建築士 山田 俊二 (登録第183136号)							
一般建築士事務所 京都府知事登録 (06A) 第02261号									



2 階中空スラブ伏図 1/150

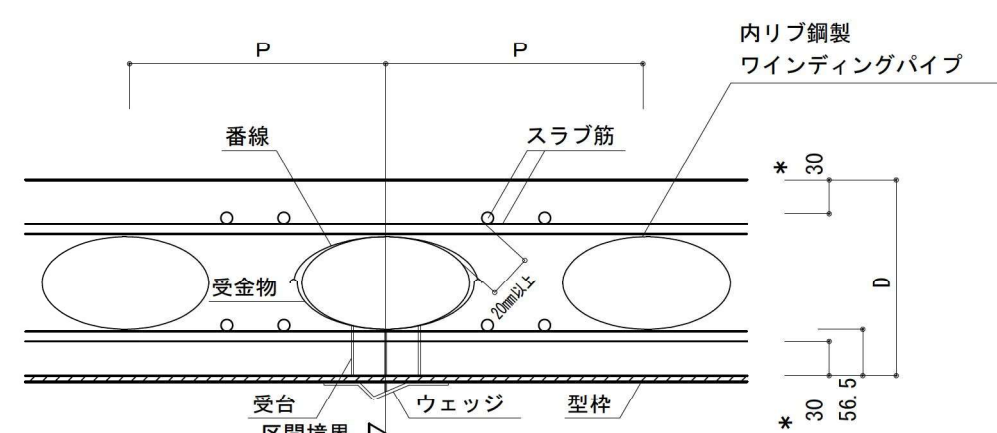


3 階中空スラブ伏図 1/150

特記なき限り
→は主方向を示す
—はパイプ径φ250×150を示す
---はパイプ径φ275×175を示す
⊗はパイプ除去範囲及び配管位置を示す
⊞はパイプ除去範囲を示す
※ はねじれ補強位置を示す
L はパイプ長さ、w はパイプ空き間隔を示す
中空スラブ断面配筋図 断面位置
a-a' 主方向断面位置
b-b' 垂直方向断面位置

中空スラブリスト		1/30		配筋バッチ内にリストに示す配筋を行うこと（横不同）			
記号		VS1					
W. P.		φ250×150#360					
方向		主方向				直交方向	
位置	端部	中央	全断面		端部	中央	
	A	B	C		C	A	B
断面							
上端筋	2-D13	1-D13	2-D13		1-D13#100	1-D13#300	
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13		1-D13#150	1-D13#150	
記号		VS2					
W. P.		φ275×175#385					
方向		主方向				直交方向	
位置	Y9 (3F) 通り端	中央	他端	全断面	端部	中央	
	㊦	B	A	C	C	㊦	A B
断面							
上端筋	2-D13+2-D16	2-D13	3-D13	3-D13	2-D13+2-D16#300	1-D13#150	
下端筋	2-D13	3-D13	2-D13	2-D13	2-D13#300	4-D13#300	

中空スラブ断面図



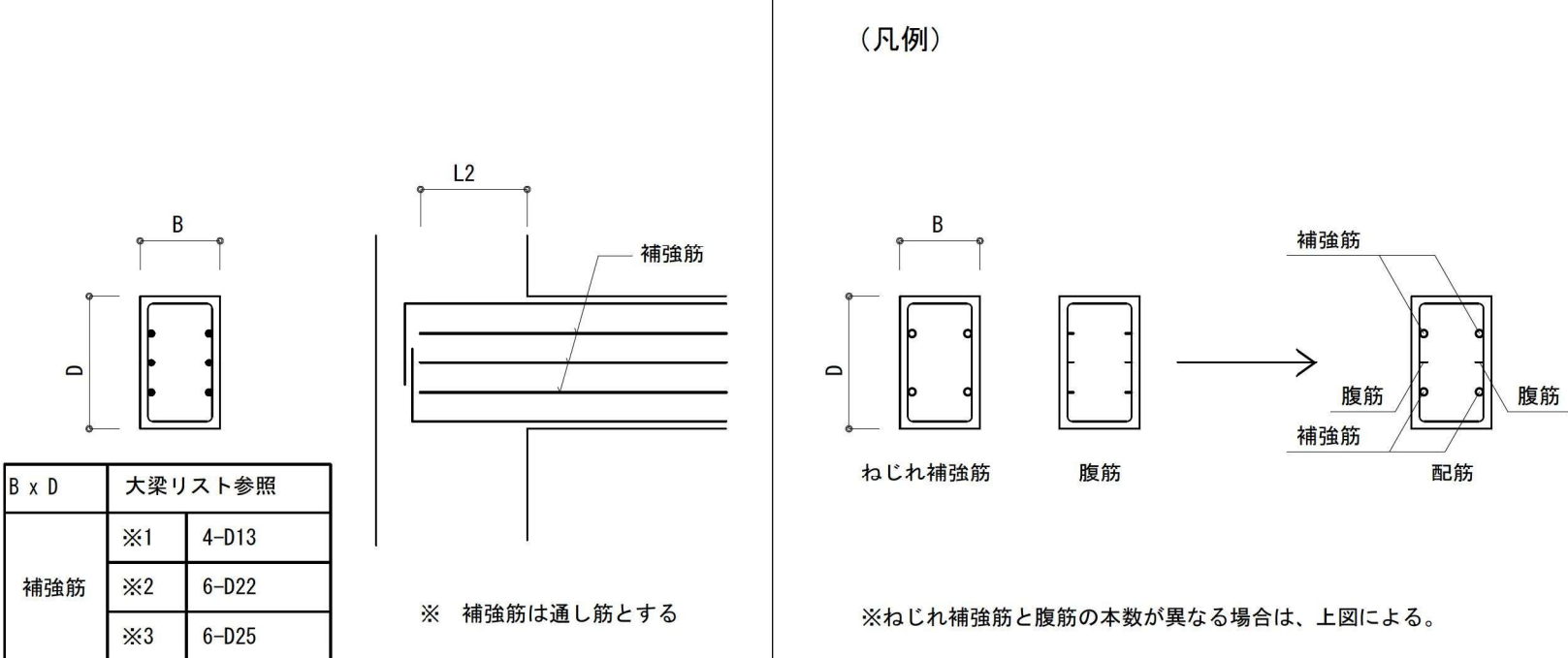
Pは、パイプピッチ Dは、版厚 を示す。

D	P	パイプ径	備 考
275	360	250 x 150	
300	385	275 x 175	

- ・ * 屋外に接する場合、鉄筋かぶりを40mmとする。
- ・ パイプは栗本鐵工所製定尺パイプ(300ピッチ)とするが、場合により任意長さ追加可とする。
- ・ 図はウエッジによる受台固定を示す。監理者の承諾を得て固定方法を変更してよい。

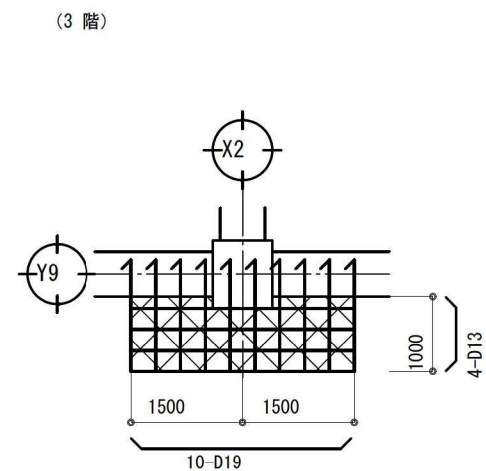
受梁ねじれ補強要領

※ねじれ補強筋は、腹筋を兼用して良い。
※補強筋は柱にL2定着させること。



柱周辺補強要領

※ 補強筋は上端筋のみとする

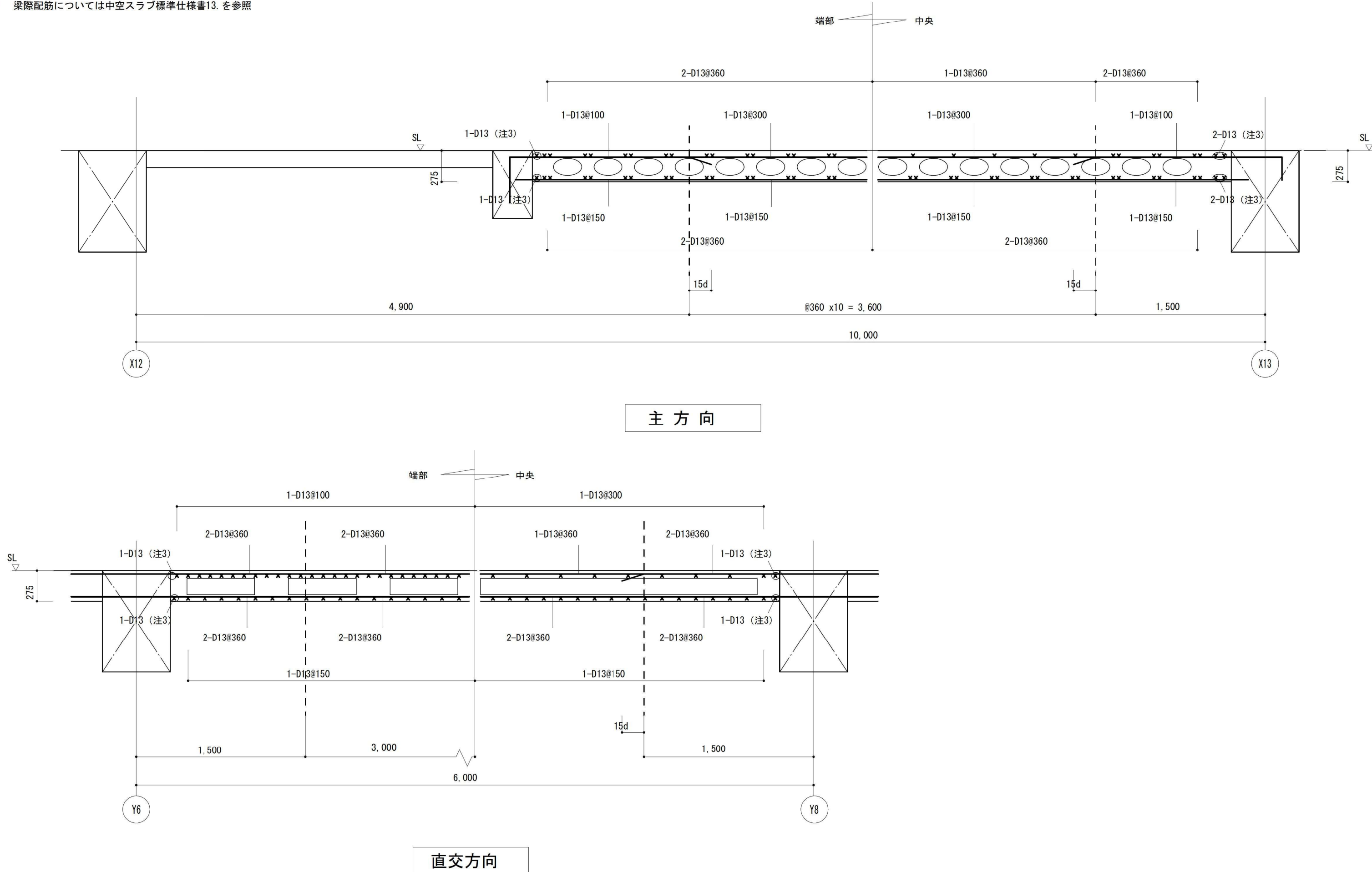


- ※ 補強筋は梁芯・柱芯を越えて定着する
- ※  はパイプ除去範囲及び補強位置を示す
- ※ 段差部も配筋補強のこと

VS1 断面配筋图 1/30

ワインディングパイプφ-250×150

- 注1) 断面位置は、割付図参照
注2) スラブ筋の定着要領は、中空スラブ標準仕様書参照
注3) 梁際配筋については中空スラブ標準仕様書13.を参照



ニューフェローデッキ 設計標準仕様書

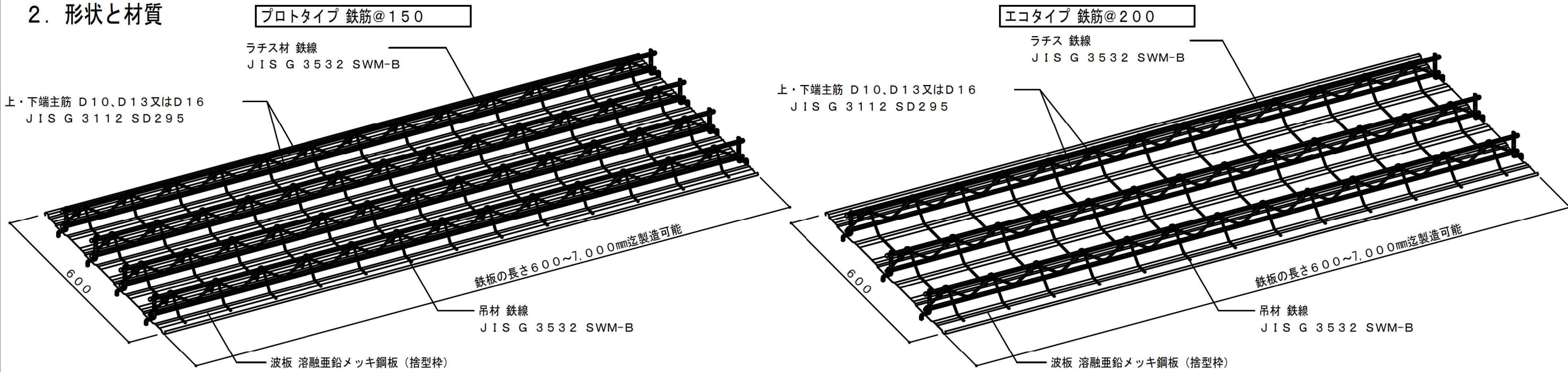
(鉄筋トラス付捨て型枠床版工法)

株式会社 富士昭技研

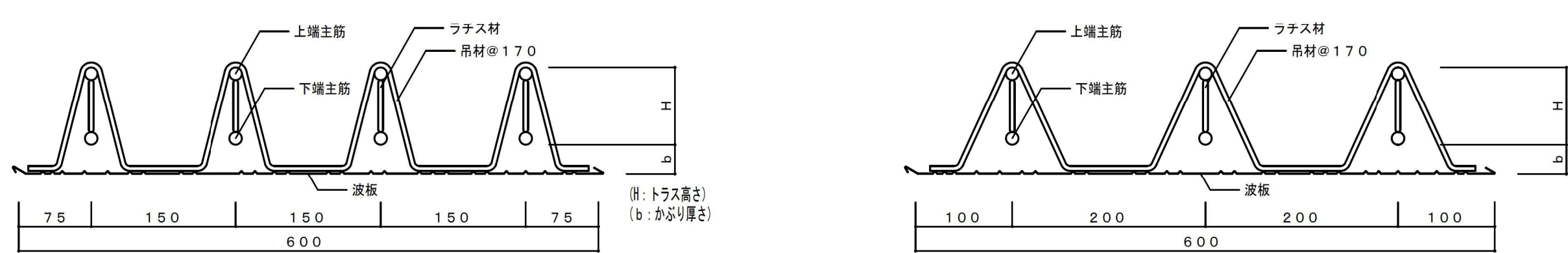
1. 工法の概要

本構造は、上端主筋と下端主筋の両者をつなぐラチス材および吊材、波板で構成するニューフェローデッキに、必要な現場施工部材を設置しコンクリートを打設することにより、コンクリート硬化後ニューフェローデッキの上端主筋および下端主筋とコンクリートが一体となるスラブである。
本工法特性：下端定着筋及び下端配力筋を設けない工法として日本建築総合試験所建築技術性能証明を取得。
(日本建築総合試験所：GBRC性能証明 第22-12号)

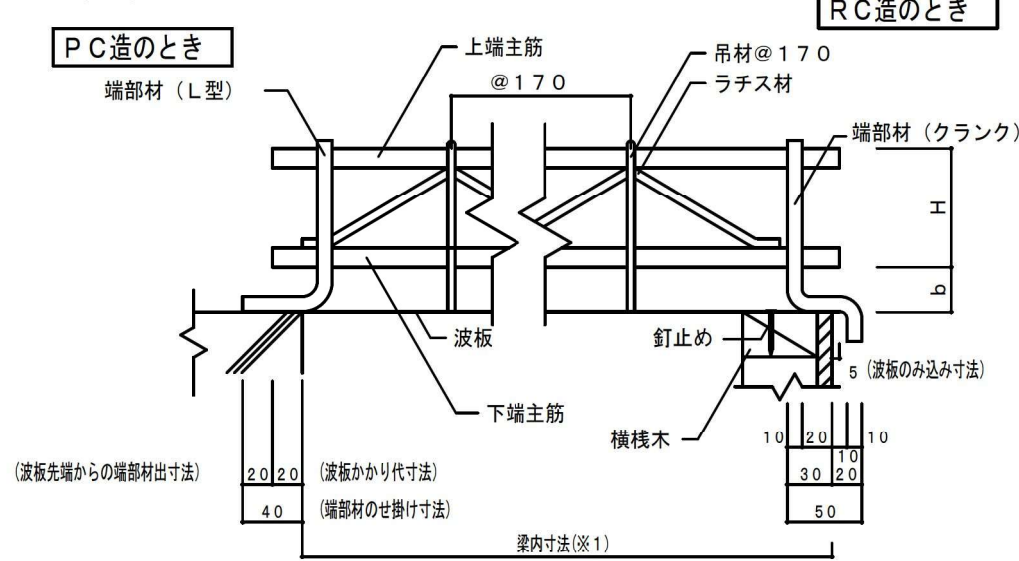
2. 形状と材質



3. 断面図



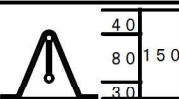
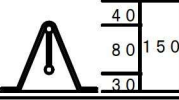
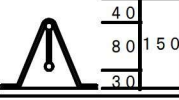
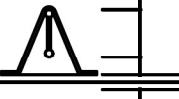
4. 標準納まり図



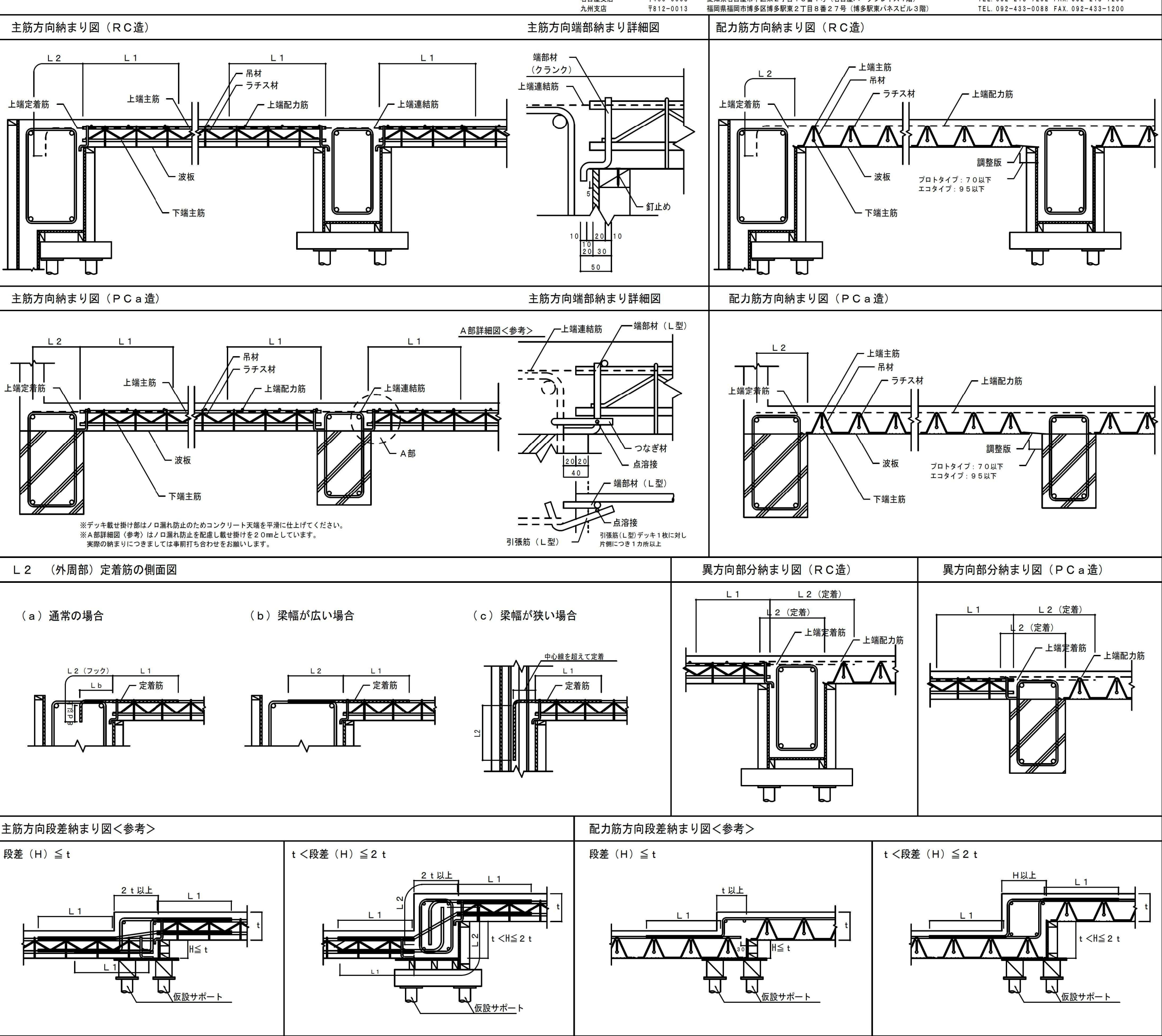
5. 施工手順及び留意事項

- (1) 搬入・荷揚げ・仮置
・搬入は、当該現場の工区、工程に応じて作成された荷姿図および合番図と、積荷を照合し、施工計画に従って行う。
・荷揚げは、現場クレーンに応じ、専用の用具等を用いて4点吊りにて行うものとする。専用の用具には、トラックから地面に荷下ろしするものと、躯体(上部)に荷揚げするものがある。その際波板、吊材等ニューフェローデッキの部材を变形、破損させないよう注意する。
・仮置きする場合は、端部材のかかり代を確認するとともに、風散養生を十分にを行い、ニューフェローデッキ梱包および割材材の落下を防止する。
- (2) 敷込み・加工・固定
・敷込みは、割付け計画に従ってあらかじめ量出しを行い、所定の位置に不陸を生じないように注意して敷込む。
・各構造のデッキののみ込み、かかり代は以下の表に示す。
- | | RC造 | SRC造 | 重スラブ(RC造) |
|----------|---------|--------|-------------|
| 構造躯体(※2) | 性能証明基準 | 性能証明基準 | 性能証明基準 |
| への波板のみ込み | 10mm以下 | 10mm以下 | 10mm以下 |
| 施工安全上の | 割付図標準設定 | 5mm | 5mm(20mm×3) |
| 端部材かかり代 | 性能証明基準 | 性能証明基準 | 性能証明基準 |
| 端部材かかり代 | 割付図標準設定 | 30mm以上 | 30mm以上 |
| 端部材かかり代 | 割付図標準設定 | 40mm | 40mm |
- ・加工は、柱廻りの切り欠き加工を行い、端部材を切断した場合には、所定の位置に新たに端部材をアーク溶接にて取付け直す。
- (3) 梁鉄筋の施工(鉄筋工事)
・RC造・SRC造の型枠には、枕木へ釘を使用し固定する。
・PCa造の場合は、PCa梁のあばら筋に掛けたつなぎ筋をニューフェローデッキの端部材に溶接にて固定する。
・固定位置は、RC造、SRC造、PCa造の幅方向については1枚(600mm幅)に対し片側1ヶ所以上とする。
- (4) 梁の上端連結(定着)筋の施工(鉄筋工事)
・継手長さはL1、定着長さはL2とする。
- (5) 上端配力筋の施工(鉄筋工事)
・継手長さはL1、定着長さはL2とする。
- (6) 留意事項
・トラス筋は施工時の支保工の役目を持つ構造材である為、部材の切断はしないこと。
・設備・配管工事の為、コン打以前に切断の必要がある場合は事前に対応策を設けること。
・開口部は、大きさにより定められた補強筋を配筋すること。
・仮設時有効スパンを超える場合は、必ず適切な位置に仮設サポートを設けること。

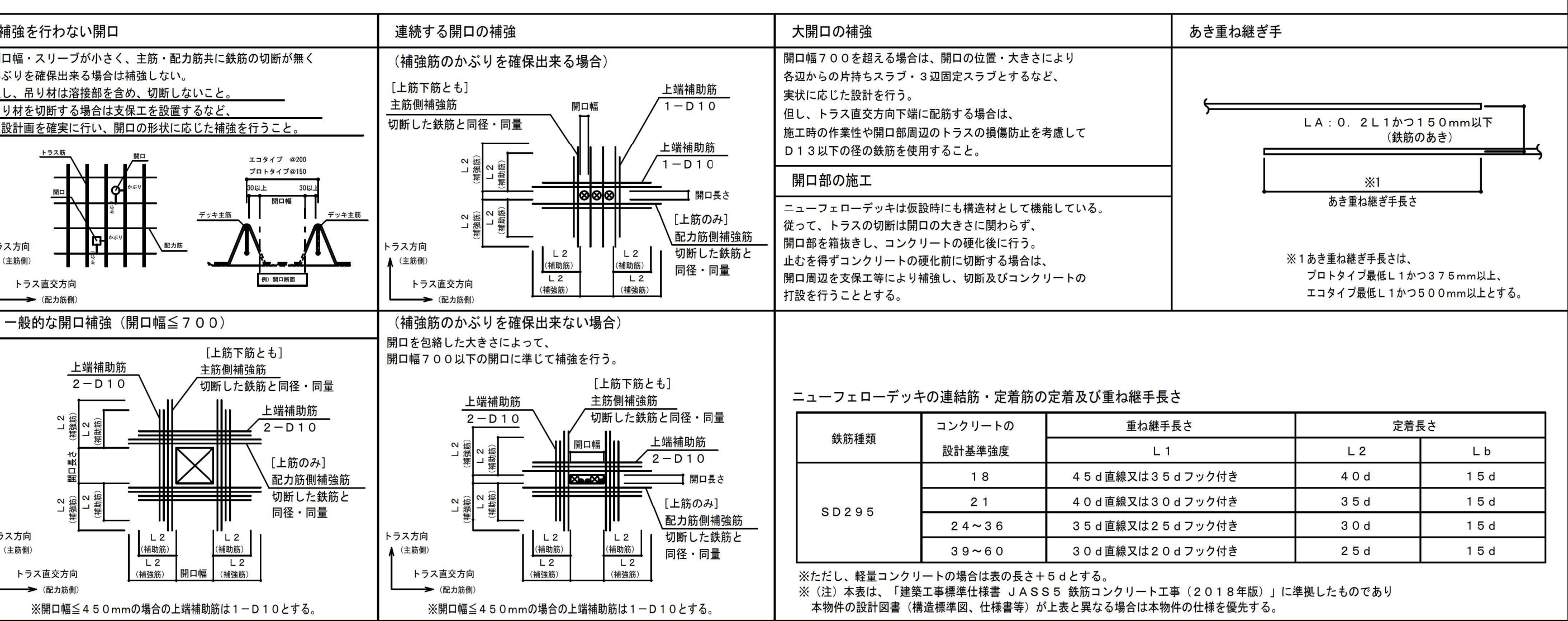
ニューフェローデッキ使用部分スラブリスト

符号	デッキ タイプ	スラブ厚	位置	短 辺 方 向		長 辺 方 向 ※1		備 考		
				デッキ主筋	現 場 配 筋					
		連結筋・定着筋			追加補強主筋		端 部 [Lx/4+15d]		中央部 [15d+ (Ly-Lx/2)+15d]	
					端 部 Lx/4+15d	中央部 15d+Lx/2+15d				
FDS1	EB80-110	150	上端筋	D13 @200	D13 @200	-----	-----	D10 @200	D10 @200	
		0	下端筋	D13 @200	-----	-----	-----	-----	-----	
FDS2	B80-110	150	上端筋	D13 @150	D13 @150	-----	-----	D10 @200	D10 @200	
		0	下端筋	D13 @150	-----	-----	-----	-----	-----	
FDS3	D80-110	150	上端筋	D16 @150	D13 @150	-----	-----	D10 @200	D10 @200	
		0	下端筋	D13 @150	-----	-----	-----	-----	-----	
			上端筋							
			下端筋							
			上端筋							
			下端筋							
			上端筋							
			下端筋							

標準納まり図<RC造>



ニューフェローデッキ開口補強要領



内 藤 ・ フ ジ 設 計 共 同 体

京都市左京区田中大厦1182
一級建築士 神矢 誠司 (登録第232129号)
一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A) 第0231号

(主任技術者)
一級建築士 山田 俊二 (登録第183136号)

工事名 紀北支援学校中校舎棟建築工事		図 名		図 尺		図 野 尺	
ニューフェローデッキ		A1: 図示		A3: 図示		S-050	
設計標準仕様書							

